

## 令和元年度東部クリーンセンター放射性物質濃度等測定結果

●焼却灰等放射性物質濃度（単位：焼却灰等 Bq/kg、排水 Bq/L、排ガス Bq/m<sup>3</sup>）

### 第1回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
平成31年4月23日	溶融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 <sup>※2</sup>	12	160	172
	溶融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出

### 第2回

採取日	検体		放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和元年5月14日	溶融スラグ <sup>※1</sup>		不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 <sup>※2</sup>		14	180	194
	溶融不適物 <sup>※3</sup>		不検出	不検出	不検出
	主灰 <sup>※4</sup>		不検出	27	27
	飛灰 <sup>※5</sup>		11	140	151
	排水		不検出	不検出	不検出
令和元年5月22日	排ガス	2号焼却炉	不検出	不検出	不検出
令和元年5月23日		2号溶融炉	不検出	不検出	不検出

### 第3回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和元年6月6日	溶融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 <sup>※2</sup>	16	230	246
	溶融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出

第4回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和元年7月12日	溶融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 <sup>※2</sup>	14	200	214
	溶融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出

第5回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和元年8月6日	溶融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 <sup>※2</sup>	11	180	191
	溶融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出
令和元年8月3日	主灰 <sup>※4</sup>	不検出	20	20
	飛灰 <sup>※5</sup>	不検出	120	120
令和元年8月6日	排水	不検出	不検出	不検出
令和元年8月20日	排ガス	2号焼却炉	不検出	不検出
令和元年8月19日		2号溶融炉	不検出	不検出

第6回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和元年9月18日	溶融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 <sup>※2</sup>	11	190	201
	溶融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出

第7回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
令和元年10月3日	溶融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 <sup>※2</sup>	13	220	233
	溶融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出
	不燃残渣	不検出	不検出	不検出

第8回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
令和元年11月14日	主灰 <sup>※4</sup>	不検出	12	12
	飛灰 <sup>※5</sup>	不検出	100	100
	焼却不燃物 <sup>※3</sup>	不検出	11	11
	排水	不検出	不検出	不検出
令和元年11月18日	排ガス	1号焼却炉	不検出	不検出
令和元年11月19日		2号焼却炉	不検出	不検出

第9回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
令和元年12月4日	主灰 <sup>※4</sup>	不検出	13	13
	飛灰 <sup>※5</sup>	不検出	100	100
	焼却不燃物 <sup>※3</sup>	不検出	17	17

第10回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和2年1月16日	主灰 <sup>※4</sup>	不検出	不検出	不検出
	飛灰 <sup>※5</sup>	不検出	96	96
	焼却不燃物 <sup>※3</sup>	不検出	10	10

第11回

採取日	検体		放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和2年2月18日	主灰 <sup>※4</sup>		不検出	不検出	不検出
	飛灰 <sup>※5</sup>		不検出	78	78
	焼却不燃物 <sup>※3</sup>		不検出	10	10
	排水		不検出	不検出	不検出
令和2年2月20日	排ガス	1号焼却炉	不検出	不検出	不検出

第12回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和2年3月6日	主灰 <sup>※4</sup>	不検出	不検出	不検出
	飛灰 <sup>※5</sup>	不検出	120	120
	焼却不燃物 <sup>※3</sup>	不検出	15	15

※1 溶融スラグとは、焼却灰を高温で溶かし（溶融し）、冷却・固化してできるガラス状の物質をいう。

※2 溶融飛灰とは、焼却灰を高温で溶かす（溶融する）ときに発生し、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※3 溶融不適物及び焼却不燃物とは、焼却灰に含まれる未燃分（主に金属類）のことをいう。

※4 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

※5 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

●敷地境界空間放射線量 (  $\mu$  S v /時 ) <sup>マイクロシーベルト</sup>

第1回 (平成31年4月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成31年4月24日	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第2回 (令和元年5月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和元年5月29日	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第3回 (令和元年6月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和元年6月26日	0.06	0.04	0.06	0.04	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第4回 (令和元年7月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和元年7月30日	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第5回 (令和元年8月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和元年8月28日	0.06	0.05	0.06	0.05	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第6回 (令和元年9月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和元年9月25日	0.06	0.05	0.06	0.05	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第7回 (令和元年10月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和元年10月30日	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第8回 (令和元年11月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和元年11月27日	0.05	0.05	0.06	0.04	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第9回（令和元年12月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和元年12月25日	0.06	0.05	0.05	0.04	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第10回（令和2年1月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和2年1月29日	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第11回（令和2年2月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和2年2月26日	0.06	0.05	0.06	0.04	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第12回（令和2年3月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
令和2年3月25日	0.06	0.05	0.06	0.05	0.06

※地表面から1mの高さで測定。